

平成 29 年 5 月 31 日
茨城県水産試験場内水面支場
(担当 : 内水面資源部)

平成 29 年 アユの遡上状況について (解禁前情報)

6 月 1 日に多くの県内河川でアユ釣りが解禁となります。茨城県水産試験場内水面支場では、県内河川のうち久慈川堅磐堰 (河口から約 8 km) および那珂川千代橋 (河口から約 30 km) を調査定点とし、各漁協の協力により 2 月下旬からアユの遡上調査を実施しております。この結果を以下のとおりまとめましたので、解禁前情報としてお知らせします。

1. 河川水温の推移

久慈川堅磐堰の河川水温は、平成 17~28 年の平均値と比べ、3 月下旬を除き概ね同程度から高めに推移しました。那珂川千代橋の河川水温についても同様に推移しました (図 1)。

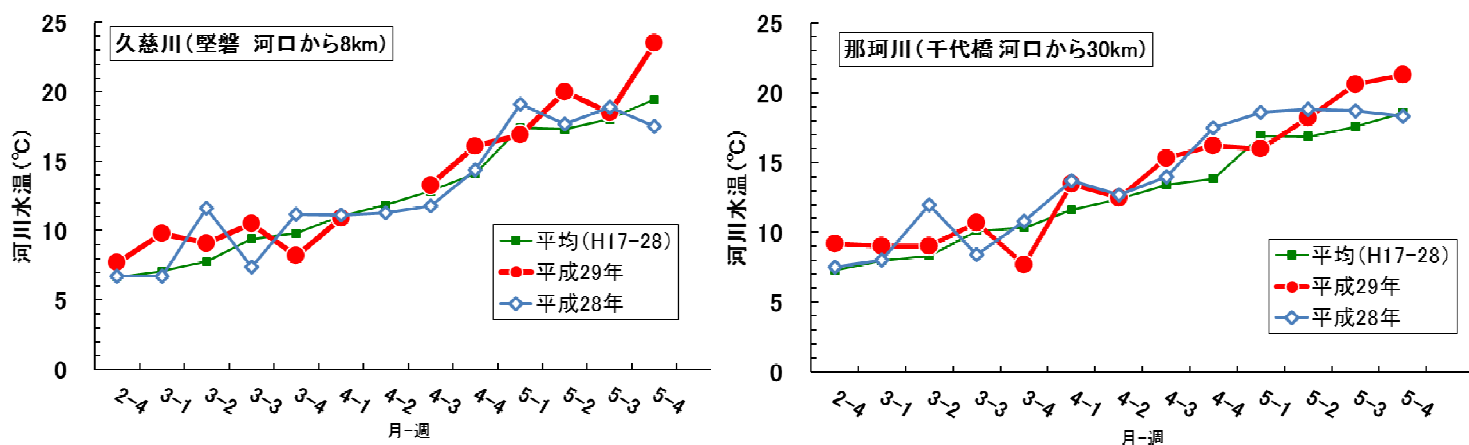


図 1 調査定点における河川水温の推移
(左図 : 久慈川堅磐堰, 右図 : 那珂川千代橋)

2. アユの遡上状況

(1) 遡上初確認日について

調査定点での遡上初確認日は、平成17年以降で久慈川は4番目に遅く、那珂川では最も早い確認となりました(表1)。

表1 茨城県水産試験場内水面支場の調査による遡上初確認日

年	久慈川(堅磐堰)		那珂川(千代橋)	
	月日	平均全長(mm)	月日	平均全長(mm)
平成29年	3月21日	74.89	3月13日	84.73
平成28年	2月23日	86.21	3月23日	81.10
平成27年	2月25日	70.24	3月31日	77.36
平成26年	3月25日	89.4	4月2日	87.01
平成25年	3月15日	84.8	3月25日	82.7
平成24年	3月9日	80.0	4月17日	74.2
平成23年*	3月30日	78.7	4月7日	78.2
平成22年	3月9日	104.1	4月8日	117.9
平成21年	4月6日	111.8	4月6日	91.0
平成20年	2月27日	83.7	3月19日	88.8
平成19年	3月6日	94.7	3月27日	85.8
平成18年	3月7日	95.1	3月29日	90.4
平成17年	3月2日	93.9	4月6日	98.0

※平成23年は東日本大震災の影響から連続調査ができなかったため“参考値”。



久慈川で採集された遡上アユ(3月21日)



那珂川で採集された遡上アユ(3月13日)

【参考図】 調査定点で採集された遡上アユ

(2) 遡上アユの採集尾数の推移 (投網10投あたりに換算した採集尾数の推移)

- 1) 久慈川： 遡上のピークは4月第4週に見られ、昨年(平成28年)や平均(平成17~28年の月-週ごとの採集尾数)に比べて2週間ほど早くなりました。

2月下旬から5月末までの累積採集尾数からは、遡上水準は平成17~28年までの平均と比べ「同程度からやや高い水準」と推測されます(図2)。

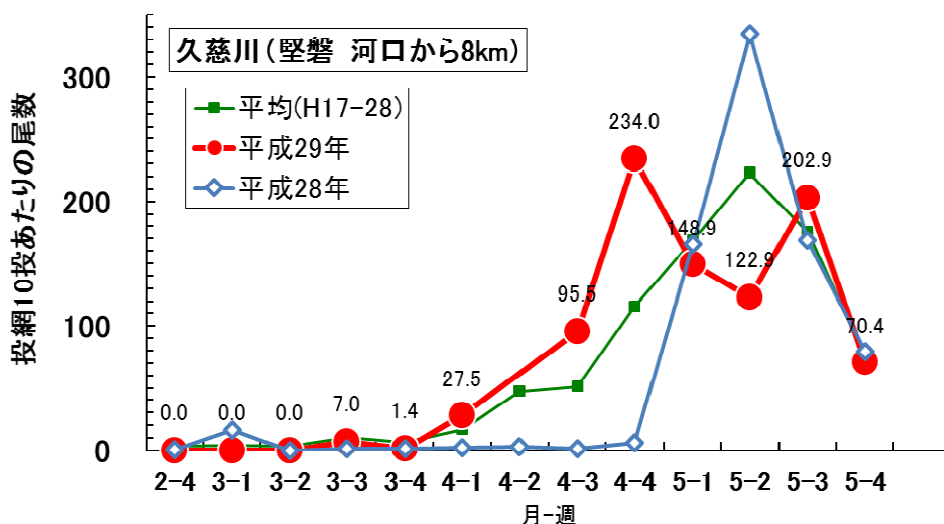


図2 久慈川堅磐堰でのアユ遡上状況

- 2) 那珂川： 3月第3週にまとまった遡上が見られ、その後遡上のピークは5月第1週に見られました。

2月下旬から5月末までの累積採集尾数からは、遡上水準は平均(同上)と比べ「高い水準」と推測されます(図3)。

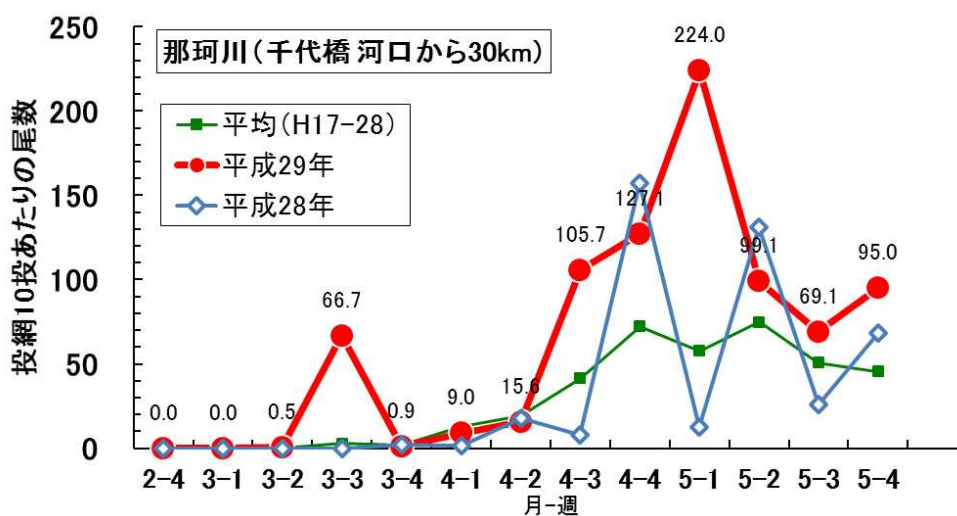


図3 那珂川千代橋でのアユ遡上状況

3. 漁協の聞き取り結果

(1) 久慈川： アユの遡上のピークは、4月下旬にあり、例年と比べて早く、それ以降も遡上が見られている。釣果については、放流ものと併せて期待したい。

釣果は天候、河川水温、河川水量次第となるが、ここ数年は秋季の自主禁漁やアユの産卵場造成といった資源保護・増殖の取り組みや放流手法の改善等に取り組んでおり、解禁日に40尾以上釣り上げる方もみられる。シーズン中、多くの釣り客と好釣果を期待したい。

(2) 那珂川： アユの遡上は例年よりも早く始まり、それ以降も途切れることなく活発な遡上が見られ、期待している。

シーズン中の釣れ具合は天候にも左右されるだろうが、3年前（平成26年）からアユの産卵場造成に取り組んでおり、その効果が出て、好釣果となればと思う。

4. まとめ

- ① 4～5月には両河川とも降雨による増水が何度か見られ、アユの遡上は順調でした。
- ② 平成29年の久慈川および那珂川のアユの遡上は、平成17～28年までの平均と比べ、久慈川では「同程度～やや高い水準」、那珂川では「高い水準」と考えられます。
- ③ 主要な釣り漁場等でも遡上アユが確認され、ハミ跡が多くみられたとの情報もありますので、今後の成長が期待されるところです。